

礼拝の意味と流れ

礼拝が始まるまで

礼拝開始は10時30分からです。

初めての方には「新来会員カード」に記入していただいている。新来会員カードを記入したからといって、信徒にならなければいけないということはありませんのでご安心ください。皆さんの必要に応じて、クリスマスやイースターの案内などを差し上げるためのものです。受付で受け取った週報（礼拝のプログラム）を見ながら礼拝に参加してください。

礼拝堂では、空いている席にお座りください。

また礼拝前は、礼拝に向かって心鎮める時間です。私語を謹んでいただけますよう、お願いします。

礼拝がはじまります

礼拝は、定刻の10時30分に前奏から始まります。

前奏につづき「招詞」があります。

聖書の言葉を用いて、神が皆さんを礼拝に招いてくださっていることを聞きます。

「讃美歌」は、みんなで歌います。基本的に起立して歌いますが、起立が難しい方は座ったままでも構いません。

江刺教会では「讃美歌21」という讃美歌集を用いています。

歌い慣れない讃美歌は歌詞を読んでいただけでも良いですが、是非歌うことにもチャレンジしてみてください。

「主の祈り」は、前の椅子のポケットに備え付けてあるカードを御覧下さい。

イエス・キリストが弟子たちに教えてくださった祈りを、わたしたちの祈りとして一緒に祈ります。

「交説詩編」は、司式者と皆さんとで交互に聖書の言葉を読みます。

皆さんは2段下がったところと太字のところを読んでください。

「信仰告白」は、前の椅子のポケットに備え付けてあるカードを御覧下さい。

教会が信じている信仰を簡素にまとめたものを一緒に唱和します。

「聖書朗読」は、司式者が行います。

プログラムに聖書の箇所、ページが記されています。

礼拝では聖書は必ずしも聞く必要はありません。

司式者の朗読に耳を傾けていただくこともとても大切なことです。

「祈禱」は、司式者が、神のために、礼拝のために、世界のために皆さんに代わって祈ります。

祈りの終りに＜アーメン＞と唱えます。

「説教」は、牧師がします。

朗読された聖書の言葉を通して、神がわたしたちに何をなさったかを聞きます。

「献金」は、神への感謝を込めておささげします。

献金は強制ではありませんので、ご用意のない場合には、献金袋をそのまま回収者に渡してください。

「祝祷」は、皆さんの一週間が神の祝福のうちに送り出されるよう、牧師が祈ります。

「聖餐式」について

江刺教会では、毎月第1日曜日、またクリスマスなどの特別に覚える日の礼拝の中で、パンとぶどう酒をいただく「聖餐式」を行っています。これはイエス・キリストを信じて「洗礼」を受けた人だけが、いただくことが許されています。洗礼を受けていない方は、差し出されがあるても受け取らず、そのままお過しください。しかし、その方もイエス・キリストを信じて洗礼を受け、ご一緒に聖餐のパンとぶどう酒をいただくことができるよう、願っています。